

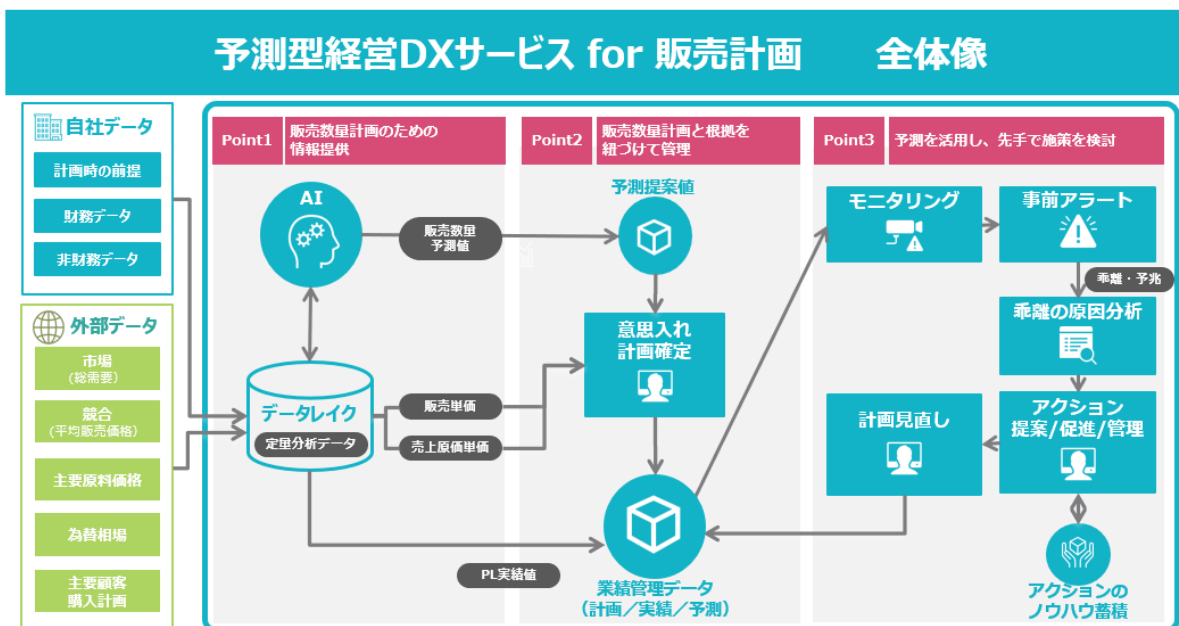
**TIS、AI予測を基にした意思決定による経営高度化を促進する  
製造業向けクラウドサービス  
「予測型経営DXサービス for 販売計画」を提供開始  
～販売数量予測/販売計画策定/乖離予兆検知までの  
一連の業務プロセスをワンストップサービスで提供可能～**

TIS インテックグループのTIS株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：岡本 安史、以下：TIS）は、AIを活用した将来予測を基に意思決定ができる経営の高度化を促進するクラウドサービス「予測型経営DXサービス for 販売計画」の提供を開始することを発表します。また、本サービスでは、本格導入前にAIによる予測値の有効性を確認できるPoCサービスを2021年12月まで期間限定で提供します。

「予測型経営DXサービス for 販売計画」は、販売計画に関する一連の業務プロセスを管理可能な製造業向けサービスです。販売計画業務での以下のような活用が期待できます。

- ・経営情報等の社内情報や政府統計等の外部データから、AIにより影響度の高い要素を用いて販売数量を予測
- ・AIによる予測値を提案値として販売計画を策定
- ・最新の予測値のモニタリングを行い、計画乖離の予兆が検知された場合はアラート発信

<サービスのイメージ>



従来、販売計画は属人的な知見等を基に策定され、その根拠が不明確なことが多く見られましたが、本サービスにて算出した予測を計画の提案値とすることで、根拠が可視化された販売計画を策定することができます。また、これまでの実績値確定後の計画値との乖離確認ではなく、本

サービスにより事前に計画値との乖離の予兆を捉え、早期の次施策の検討/推進が可能となります。

本サービスでは、販売数量の見通し及びそれらと関連性の高い情報の変化を早期に把握することで、先手がうてる状態をつくり、企業の意思決定の高度化を目指しています。

## ■背景

昨今のビジネス環境は、不確実性・複雑性が増し先行きが不透明で将来予測が困難な情勢であるため、勘と経験に頼る従来型の経営判断からの脱却が求められています。特に AI /ビッグデータを活用した需要・市場動向などを予測する業績管理サービスは注目され、当社のお客様では販売数量計画の予測において取り組みを始めようとする企業が多く見られました。

そこで TIS は「予測型経営 DX サービス for 販売計画」を、予測型経営を志向し販売計画の策定/PDCA サイクル推進に課題感を持つ企業の経営企画や事業部門の責任者及び企画担当者、情報システム部責任者/企画担当者に展開し、根拠が明確な販売計画の策定、乖離予兆の事前検知による早期の意思決定/経営判断の促進に寄与します。

## ■サービスの特長

「予測型経営 DX サービス for 販売計画」は以下 3 つの特長を活かして業績に影響を与える指標の変化・兆候を把握することで、将来予測に基づいた意思決定による経営管理の高度化を実現します。

### ① 多種多様なデータの収集・蓄積

ERP 等の社内情報だけでなく、業績に影響を与える、景気動向、市場動向といった社外データなど、多種多様なデータを収集・蓄積可能。

### ② AI 予測エンジン

データレイクに蓄積されたデータの中から、予測対象に影響を与える指標を用いて、AI 予測エンジンで将来の予測分析を実施。

### ③ 分析データモデル

AI による各種分析を行うことで、将来何が起きるのかを変化の予兆と共にいち早く把握。これにより、将来予測に基づいた意思決定や、事前に然るべき手を打つことを可能にする分析データを提供。

本サービスの詳細は、以下 URL をご参照ください。

[https://www.tis.jp/service\\_solution/predictive-management-dx-for-sales/](https://www.tis.jp/service_solution/predictive-management-dx-for-sales/)

## ■PoC(実機検証)サービス

PoC サービスでは以下のような課題をもつ製造業企業向けに、「データ収集/影響度の高い要素の分析」「予測の実施/結果の評価」などを通じて、本サービスの有用性をご判断いただきます。

- ・販売数量計画の意思入れが属人的で根拠が不明確
- ・販売数量計画が信用できないので、工場は過去実績を基に生産計画を立てている

期間：3～4 か月

価格：500 万円～

申し込み期限：2021 年 12 月まで

## ■今後について

TIS は本サービスを「属人的な販売計画策定」「経営情報の有効活用」「早期の意思決定/経営判断」といった点に課題感を持つ製造業企業に提供し、また販売計画だけでなく生産計画/在庫計画といった他領域への拡大を図り、2024 年までに 30 社への導入を目指します。

### TIS 株式会社について (<https://www.tis.co.jp/>)

TIS インテックグループの TIS は、SI・受託開発に加え、データセンターやクラウドなどサービス型の IT ソリューションを多数用意しています。同時に、中国・ASEAN 地域を中心としたグローバルサポート体制も整え、金融、製造、流通/サービス、公共、通信など様々な業界で 3000 社以上のビジネスパートナーとして、お客様の事業の成長に貢献しています。

### TIS インテックグループについて

TIS インテックグループはグループ社員約 2 万人が一体となって、強みを活かし、国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのお客様のビジネスを支える IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつけていきます。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

## 【本件に関するお問い合わせ先】

### ◆報道関係からのお問い合わせ先

TIS 株式会社 企画本部 コーポレートコミュニケーション部 橋田/高橋

TEL : 03-5337-4232 E-mail : tis\_pr@ml.tis.co.jp

### ◆本サービスに関するお問い合わせ先

TIS 株式会社 エンタープライズビジネスユニット エンタープライズ営業企画ユニット

E-mail : sol@tis.co.jp